

平成22年度「みんなの審査会(新さかい)」対象事業の市の方向性  
(平成23年2月時点)

事業番号	④-4	事業名	ものづくり産業振興事業(伝統産業振興:後継者育成)			
所管	産業振興	局	商工労働	部	ものづくり支援	課
1. みんなの審査会でいただいた主な意見等						
<p>(検討委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PR不足である。伝統産業そのものや伝統産業振興事業の周知を強化すべき。</li> <li>・マイスターのステータスが向上するような取組みが必要。</li> <li>・市民が見て触れることができる展示の場が必要。</li> <li>・効果的なPR手法として、マイスター推進委員会事業(観光事業との連携、ビデオ作製など)に重点を置いてはどうか。</li> <li>・マイスター制度を意味ある活動とするには、マイスターそのものをビジネスとして成立できるようにすべきではないか。</li> <li>・後継者育成の方法論として補助金ではなく、奨学金貸付のように一人前の職人となれば返済免除などの制度を検討してはどうか。</li> </ul> <p>(市民審査員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイスターのPRと同時に予算の拡充が必要と思う。伝統産業技能の継承の充実が必要。</li> <li>・堺の強みは伝統しかない。これの振興は行政の役目だ。</li> <li>・後継者育成事業のPRを強化し、予算拡充をめざしてほしい。補助期間、金額の検討も必要。</li> <li>・マイスターになる為の入口はやはり必要だと思う。事業所への援助、新入社員3年間援助には賛成(マイスターの価値をさらに高めるために工夫は必要)。</li> <li>・対象事業の見直し(削減)が必要。</li> <li>・伝統産業の振興は大事かもしれないが、支援の仕方を考える。</li> <li>・マイスターの育成とともに商品価値を高めるPRが必要。</li> </ul>						
評価結果	①市で実施 (現行どおり)	②市で実施 (強化・拡充)	③市で実施 (要改善)	④実施主体の 見直し	⑤事業は不要 (廃止)	
市民審査員	2人	5人	8人	0人	1人	
検討委員(参考)	0人	0人	5人	0人	0人	
2. 市の方向性	強化・拡充					
3. 1の意見等を踏まえた市としての取組方針、見直し内容						
<p>伝統産業の情報発信を強化し、個別事業については、それぞれ成果指標を明確にし効果検証のうえ改善を図る。具体的には、後継者育成事業補助金については、平成23年度中に制度検証を行う。また、伝統産業振興拠点を整備し、堺伝統産業のシンボル拠点のもと一層の産業振興を図っていく。</p>						
4. 平成23年度予算への反映状況						
	平成22年度当初予算	平成23年度査定額	増減額			
事業費	6,655千円	10,055千円	3,400千円			
5. 今後の取組予定						
平成22年度下半期	伝統産業広報冊子を作成(初版5,500冊)し、公共施設ほか金融機関等へ配布する。マイスター展を開催する。					
平成23年度	伝統産業振興拠点の整備支援と情報発信・販売強化を行う。マイスター推進委員会によるDVDの作成とマイスター展による効果的な情報発信を行う。					
平成24年度以降	個別事業の検証を踏まえた事業の改善を図る。					